

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 2 月 25 日 (2021.2.25)

【公開番号】特開 2019-136222 (P2019-136222A)
 【公開日】令和 1 年 8 月 22 日 (2019.8.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-034
 【出願番号】特願 2018-20873 (P2018-20873)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 5 2 F
 A 6 3 F 7/02 3 5 2 L
 A 6 3 F 7/02 3 0 1 C
 A 6 3 F 7/02 3 3 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 1 月 8 日 (2021.1.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

内部に封入された複数の遊技球を循環させて使用することで遊技を行う弾球遊技機であって、

発射装置により遊技領域に向けて発射された遊技球の入球口への入球に起因して抽選を行い前記遊技を進行させる主制御装置と、

前記遊技領域に設けられた前記入球口及びアウト口に入球した遊技球を、前記発射装置へ供給する循環手段と、

遊技者が前記遊技に用いることができる遊技球の数である持球の数である持球数を記憶しており、前記発射装置により遊技球が発射されると、前記持球数から発射された遊技球の数を減ずると共に、前記入球口への入球に応じて前記持球数を増加させる枠制御装置と、

前記主制御装置以外の装置であって、遊技球を持球として貸し出す球貸しのレートの入力を受け付け、入力された前記レートを、前記弾球遊技機の外部に設けられたカードユニットに提供する入力手段と、を備え、

前記枠制御装置は、前記カードユニットにて前記球貸しがなされると、前記カードユニットから、前記球貸しにより遊技者に提供される遊技球の数である貸球数を取得し、該貸球数を前記持球数に加算し、

前記カードユニットは、前記入力手段により提供された前記レートに基づき前記球貸しにおける前記貸球数を定めること、

を特徴とする弾球遊技機。

【請求項 2】

請求項 1 に記載された弾球遊技機において、

異なる特性の遊技を行うための複数の設定値を有し、

前記抽選の当選確率として複数の確率が設けられており、異なる前記特性の前記遊技とは、前記抽選で当選する確率であり、

前記主制御装置は、外部からの指示に応じて複数の設定値のうちのいずれかを現在の設

定値とする装置であって、前記現在の設定値に応じた前記特性の前記遊技を進行させることを特徴とする弾球遊技機。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載された弾球遊技機において、

前記主制御装置は、前記現在の設定値が新たに定められると、新たな前記現在の設定値を示す更新情報を前記枠制御装置に提供し、

前記入力手段は、前記枠制御装置に設けられ、前記更新情報が示す前記現在の設定値に応じた範囲の前記レートの入力を受け付けること、

を特徴とする弾球遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題に鑑みてなされた請求項 1 に記載の弾球遊技機は、内部に封入された複数の遊技球を循環させて使用することで遊技を行う構成である。該弾球遊技機は、発射装置により遊技領域に向けて発射された遊技球の入球口への入球に起因して抽選を行い遊技を進行させる主制御装置と、遊技領域に設けられた入球口及びアウト口に入球した遊技球を、発射装置へ供給する循環手段と、遊技者が遊技に用いることができる遊技球の数である持球の数である持球数を記憶しており、発射装置により遊技球が発射されると、持球数から発射された遊技球の数を減ずると共に、入球口への入球に応じて持球数を増加させる枠制御装置と、主制御装置以外の装置であって、遊技球を持球として貸し出す球貸しのレートの入力を受け付け、入力されたレートを、弾球遊技機の外部に設けられたカードユニットに提供する入力手段と、を備える。そして、枠制御装置は、カードユニットにて球貸しがなされると、カードユニットから、球貸しにより遊技者に提供される遊技球の数である貸球数を取得し、該貸球数を持球数に加算し、カードユニットは、入力手段により提供されたレートに基づき球貸しにおける貸球数を定める。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、請求項 2 に記載されているように、異なる特性の遊技を行うための複数の設定値を有し、抽選の当選確率として複数の確率が設けられており、異なる特性の遊技とは、抽選で当選する確率であり、主制御装置は、外部からの指示に応じて複数の設定値のうちのいずれかを現在の設定値とする装置であって、現在の設定値に応じた特性の遊技を進行させてもよい。

なお、請求項 3 に記載されているように、主制御装置は、現在の設定値が新たに定められると、新たな現在の設定値を示す更新情報を枠制御装置に提供しても良い。そして、入力手段は、枠制御装置に設けられ、更新情報が示す現在の設定値に応じた範囲のレートの入力を受け付けても良い。

このような構成によれば、球貸しのレートが主制御装置に提供されるのを回避しつつ、現在の設定値に応じて設定可能な球貸しのレートの範囲が定められる。このため、上述した管理遊技機において、セキュリティを確保しながら、遊技者とホールとの利益のバランスを好適に調整することが可能となる。

特に請求項 2 に適用した場合には、例えば、高確率の時には高いレートを設定することができないといったことが可能となる。